



田上 慎太郎さん
Tanoue Shintaro

〔横田区〕

たのうえ しんたろう / 甲佐町消防団団長。今年4月に団長に就任し、370人の団員の指揮を執る。町や住民などと協力して地域防災力の向上に努める。

本町の安全・安心を守るため 地域防災力の向上に努める

「近年、熊本地震や豪雨災害など大きな災害が後を絶ちません。火災や自然災害発生時に町消防団の力を最大限に発揮できるように訓練はもちろん、日頃から町や住民と連携

していききたい」と話すのは甲佐町消防団団長として地域の防災活動の先頭に立つ田上慎太郎さん（横田区）。

月から団長に就任。本町の安全・安心を守るために団員を束ね、地域防災力の向上に取り組んでいる。

熊本地震時、分団長であった田上さんは地域住民の安否確認や避難の呼びかけ誘導などを団員に指示。自身も高齢者を担いでほかの団員と共に避難所へ運んだという。「団

員たちの中には、自らが被災している者も多く、なかなか身動きが取れないといった状況でした。そんな中、行政職員や当時の団長たちと一緒に考え、動ける団員には、すぐに支援が必要な高齢者の救助や避難誘導を指示しました。

私たちの判断で救われる命があるのですからとにかく必死でした」と当時を語る。

「救助しに行った人が、大けがを負ったり命を落としたりするようなことはあってはなりません。団員や住民が救せざるを得ない状況を作らないためにも皆さんには自分の命は自分で守るという覚悟を持って欲しい」と自助の大切さを話す。

本町の安全・安心を守るためになくてはならない存在の町消防団だが、団員数の減少が深刻だ。10年前まで500人を超えていた団員数も今年度は370人と100人以上減少。また、高齢化率も顕著

であり、団員一人あたりの負担は増加している。「団員の負担を軽減するためにも、町や地域の自主防災組織と連携し、住民に災害の備えはもちろん、訓練の参加を呼び掛け、一人でも防災に対する意識の変化が起きれば」と田上さん。

「私たち消防団員は『自分たちの地域は自分たちで守る』という郷土愛の精神で、住民の安全確保という務めを果たしています。消防団を取り巻く現状には厳しいものがありますが、未来の甲佐町のため、今できることを精一杯取り組んでいきます」と甲佐町消防団の未来を見据え、地域防災力を高めるため歩み続ける。



▲甲佐町消防団団長就任のあいさつを述べる田上団長